

【病院控】

(ID:8002876704)

## 入院時の説明・同意書

私は、患者                      様 に対して、入院診療計画説明書を用いて入院治療の必要なことを説明致しました。また、入院中の下記の事項についても併せて説明致しました。

## 1. 医学的事項

- 1) 一般的な診療：入院診療計画書に基づいた一般的な血液検査・検体検査・放射線検査および治療については、その都度説明し同意を得て行いますが、同意書は作成致しません。
- 2) 特殊な診療：危険を伴ったり侵襲を伴う検査および治療に対しては、十分に説明し、新たに同意書を作成して行います。
- 3) 病名および病態の説明：当院では、病名および病態については十分にご説明するように努力しています。ご理解出来ない場合は繰り返し担当医にお尋ね下さい。

## 2. 教育実習・臨床研修

当院では、教育関連病院として医学生や看護学生等の医療スタッフの教育実習が行われています。また、厚生労働省の臨床研修指定病院として卒後臨床研修プログラムを作成し、医師の卒後臨床研修を行っています。熟練した指導者のもとで行っていますのでご理解下さい。

## 3. 情報の提供

医療費の支払いを受けるため保険機関への診療報酬明細書の提供、紹介を受けた医療機関への診療情報の報告を行います。また、診療評価や教育的な目的で医療情報を利用することがあります。

## 4. 入院生活

- 1) 個人的貴重品：私物の管理は個人的責任でお願い致します。お金・宝石などの貴重品の紛失や損傷には責任を負いかねます。不必要な物は、出来るだけ持ち込まないようお願い致します。
- 2) 不可抗力的な事故：職員一同細心な注意を払っていますが、ベッドからの転落、廊下での転倒、排便やシャワーの中の事故など予測出来ない事態が起こることがあります。十分にご注意下さい。
- 3) 外出・外泊：治療計画の一つとして、あるいはやむを得ない理由のための外出・外泊をされる場合があります。その際は事前に「外出・外泊申請書」を提出し、許可をとっていただきます。入院中の外出・外泊であることに留意され、一層のご注意をお払い下さい。病状の変化を認めた場合には、速やかにご連絡下さい。
- 4) 医療相談室：本院には、医療相談室があります。医療相談室では福祉関係・医療費などのお困りのことのご相談に応じております。お気軽にご相談下さい。また在宅医療を勧めるために、福祉関係との対応が必要な場合は、診療情報を提供することがあります。
- 5) 入院規則：病院には、医療相談科があります。「入院のご案内」に基づき説明致しますが、わからないことがありましたらご質問下さい。

## 5. 転院・退院のご協力について

当院は大学病院として、急性期疾患や重症疾患の患者さんに対する、高度医療を担う医療機関であります。その為、急性期における治療が終了したり、医師が身体状況等から軽快あるいは安定した状態、症状固定の状態と判断した場合は、近隣の医療機関等への転院もしくは退院にご協力ください。

東海大学八王子病院

【病院控】

(ID:8002876704)

入院時の説明・同意書

6. 公共の秩序の遵守等について

入院生活はあくまでも治療が目的ですので、医師や看護師からの治療上の指示については、必ずお守りください。当院の規定事項を遵守し、他の患者さんの迷惑となる行為や、医師・看護師・その他の職員に対する威嚇的・侮辱的な言動等、医療の妨げとなる行為は一切おこなわないことをお約束ください。

なお、はなはだしい規則違反を繰り返される方には、退院を勧告することがありますのでご承知おき下さい。

7. その他

緊急で入院された場合、緊急用病室から一般病室に転棟・転室の際には、差額料金が生じる事がありますので、ご承知おき下さい。

付記：

2016年05月02日

説明医師 庫本 達



(同席医師)

：自署

(同席看護師)

本田芳子

：自署

東海大学八王子病院長 殿

私は、上記の内容の説明に対して同意します。

2016年5月2日

患者氏名

本田芳子

(自署)

親族又は代理人氏名

(自署)

続柄 ( )

東海大学八王子病院

(ID: 8002876704)

## 説明・同意書

私は、患者                      様に対して下記の手術について次のように説明致しました。

手術名：腹腔鏡下S状結腸切除術、膀胱部分切除術 場合により開腹移行の可能性あり

1. 診断：これまでの経過と検査からS状結腸と膀胱に瘻孔が形成されておりS状結腸憩室炎によるものの可能性が高いと思われます。まれに腫瘍（できもの）などが原因の場合があります。
2. 手術の必要性：今までの内科的治療（絶食やチューブによる吸引など）では良くなる様子がなく、一般的に結腸膀胱瘻は保存的治療で治癒することはほとんどなく、食事を開始するとまた再発することが多いです。またS状結腸と膀胱がつながっており食物が膀胱へ流れていくことにより尿路感染を起こします。結腸膀胱瘻がなんらかの原因で破綻し腹膜炎を起こし全身状態が悪化することがあります。今のうちに手術することが望ましいと思われます。
3. 手術の内容：憩室が多発しているS状結腸を切除し、吻合します。炎症で膀胱とS状結腸の癒着が強固な場合は一部膀胱壁を部分切除します。S状結腸の吻合部が弱い場合は、吻合部の安静のため人工肛門（皮膚面に腸を開口させたもの）をつくることがあります。また、ほかの原因によるときは、その疾患に応じた手術を行うことになります。
4. 麻酔の方法：麻酔科に依頼して全身麻酔で行います。
5. 危険性：全身麻酔、手術、術後の経過を通じて多少なりとも危険性（例えば、術中の血圧の変動、ショック、出血、術後の合併症など）があります。高齢化や基礎疾患の有無、菌血症や腸壊死の影響から致命的な重篤な合併症が発生することがあります。重篤な腸閉塞では手術死亡率4～7%程度と報告されています。
6. 合併症：出血、術後肺炎、肺梗塞、創感染、腸閉塞などのほか、腸切除をしたときは縫合不全（つないだ部分のなおりが悪くもれが生じること。腸管・膀胱）などが起こることがあります。
7. 術後経過：腸の動きの回復が順調ならば、4～5日ごろより食事を始め、約2～3週間で退院出来る見込みです。ただし、術後の腸の動きの回復は個人差が大きいため、経過も一樣でないことを承知下さい。腸切除を行ったり、原因が癒着以外の場合や合併症を起こしたときは、絶食や入院の期間が延びることがあります。
8. その他：この同意書の内容、手術前後の説明にわからないことがあったり、術後の経過で気になることがあればいつでもお聞き下さい。

2016年05月13日

説明医師 茅野 新 (印)

(同席医師) : 自署

(同席看護師) : 自署

私は、上記の内容の説明を受け同意します。また、上記手術を行うために必要な処置と、これらの目的になかった全身、またはその他の麻酔を受けることもあわせて同意します。

H 28 年 5 月 13 日

患者氏名                      (自署)

親族又は代理人氏名                      (自署) 続柄 (長男)

東海大学八王子病院

200203